


緊急帝王切開術を受けられる患者様へ（入院治療計画書）

産 - 2 B . 0 4 - 1

氏名 _____ 様 病名 _____ 年 月 日

入院病日・経過 (月日)	入院 ~ 手術前 月日	手術当日 月日	手術後1日目 月日	手術後2日目 月日	手術後3日目 月日	手術後4日目 月日	術後5日目 月日	術後6日目 月日
治療 処置	分娩監視装置をつけ、赤ちゃんの心音、腹緊の状態を確認します。 	アレルギーがある方は抗生剤テストがあります（皮内注射） 手術前の注射（ない場合もあり） * 時 分 準備のない場合、手術前に胸部写真、心電図をとります。 手術後1 酸素マスク 尿を出すための管が入ってきます。	尿管を抜きます。 (状態に応じて2日目にします) 創部が汚れていたらガーゼ交換 乳房マッサージ		血圧測定 朝食前 体重測定 (kg)		創ガーゼ交換 診察 抜糸（あれば） 	退院 予定 
薬・点滴 痛み止め	服薬指導(薬剤師) * 入院中、指導に伺います。	点滴500ccが5本夜間通じて、翌日まで入ります。 抗生剤点滴100cc 手術中に投与されます 手術後、座薬・注射（痛みによって使用） 	手術後の点滴を抜きます。(2日目になる場合もあります) 鎮痛剤の内服、鎮痛剤の座薬が処方されます。 内服薬 ----->					退院時 服薬指導 (薬剤師)
検査	尿蛋白を調べます。	準備がない場合、手術前に採血があります。	状況により採血があります。		尿蛋白検査があります。		採血があります。	
栄養	妊産褥婦食 * 妊娠中毒症の症状がある方は塩分制限食になる場合があります。	指示により食べたり、飲んだりできません。 	手術食 -----> * 軟らかい食事からです。 (指示により開始します) 			-----> ジュースその他をお渡しします。 昼食はお祝い膳になります。	妊産褥 婦食	----->
行動範囲	制限なし(院内) 	手術約30分前に尿を済ませ、搬送台に乗ります。 手術後翌日までベッド上安静 * 麻酔が覚めるまで2時間毎、体の向きを変えます。 麻酔が覚めたら、自分で向きを変えてもよいです。	尿管を抜いてから、看護婦と1回目の歩行をします。以降歩行は、状態にあわせ自由です。 (2日目になる場合もあります) 					
清潔	状況に応じて入浴 	手術後は看護婦がナプキン交換を致します。	洗面介助を致します。 看護婦が身体を拭きます。 歩行開始してからは、トイレで外陰部洗浄、ナプキン交換をしていただきます。	シャワー ----->		毎日 午前9時~午後5時にご利用下さい。 		
看護師の説明 指導日程	病棟案内 * 妊娠経過等を伺います。 * 入院の生活を説明します。	医師により手術承諾書、手術に関する説明をします。 麻酔医が伺います。 	母児同室希望の方は体調を見ながら同室を開始します。	母児異室希望の方は体調を見ながら授乳を開始します。(1日目から可能)	調乳指導(希望者のみ) 毎週 火曜日午前、金曜日午前 沐浴指導(月日) ご家族の方も参加できます。 		退院指導(月日)午前11時頃より、昼食にお祝膳を用意しております。 アンケートをお願いします。 	
看護師と患者さんの目標	入院に関する不安な点をお聞きし、安心して手術を受けられるように努めます。小さな事でもかまいませんのでお尋ね下さい。 	現状を理解され、手術に臨めるよう援助します。  麻酔が覚め、血圧など身体の状態が安定し、痛みが最小限で経過できる様、看護婦が伺い、適時処置致します。 痛みは、我慢せずお申し出下さい。	本日中にガスがでることが大切です。 * 身体を動かす事により、腸も動き、癒着予防に、又子宮の回復も良くなります。 頑張っ、歩きましょう！尿がスムーズに出るまで時間がかかります。 * 膀胱充満は子宮収縮を妨げます。 3-4時間毎に排尿しましょう。	便秘は子宮収縮を妨げます。 3日目までに排便がみられる様下剤等で調整します。 			退院後の生活に関する不安等お伺い下さい。 	----->
検温 ()								
食事摂取量 (割)	朝 昼 夕		朝 昼 夕	朝 昼 夕	朝 昼 夕	朝 昼 夕	朝 昼 夕	朝 昼 夕
尿回数								
便回数								

診断書等が必要な方は1階3番カウンターにお申し出下さい。
注) 状態に応じて予定が変更となる場合があります。

主治医 玉手 健一

薬剤師

担当スタッフ

術後の経過は個人差があります。
ご不明な点は医師、看護婦にお尋ね下さい。